

関係者各位

函館市医療・介護連携支援センター
センター長 岡和田 敦

「令和3年度 函館市医療・介護連携多職種研修会」
医療関係者向け研修会（動画公開）の開催について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、函館市医療・介護連携支援センターでは、函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会の協力のもと、多職種間での「相互理解」というテーマで、当センターのホームページで研修動画を公開する形で開催しております。

今回、動画を作成する事で、繰り返し見る事等が可能となりより多くの方々が他職種への理解を深める事ができると考え、令和元年度の研修内容を動画で公開する運びとなりました。

貴事業所職員の皆様におかれましても、ぜひお誘い合わせのうえ閲覧していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

『令和3年度 函館市医療・介護連携多職種研修会』
医療関係者向け研修会（動画公開）

【日 時】 令和3年5～6月中

*お申し込みいただいた医療機関（部署）及び事業所に、パスワードと動画公開期間をお知らせいたします。

【場 所】 函館市医療・介護連携支援センター ホームページ

*閲覧を制限している為、申し込みをいただいた医療機関（部署）及び事業所にのみ、閲覧の為のパスワードをお知らせいたします。
パスワードや動画は無断転用禁止ですので、ご理解のほど宜しく願いいたします。

【対 象】 函館市内の医療・介護関係者
教育機関

*医療関係者向け研修となっておりますが、介護関係者も申込可能です。

【内 容】 テーマ：「介護サービスの概要と役割（医療と介護の連携）」

講 師：医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所
管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様

【申込方法】 申込は各所属事業所よりお願いいたします。

*参加申込書にご記入のうえ、令和3年6月4日（金）までにご連絡をお願いいたします。

[お問い合わせ先]

函館市医療・介護連携支援センター（函館市医師会病院内） 担当：近藤

電話：43-3939 FAX：43-1199 E-mail：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

令和3年度函館市医療・介護連携多職種研修会（医療関係者向け研修）

アンケート集計結果 分析

n=135（回収率 58%）

1. 所属機関をお聞かせください。（複数回答可）

・医療機関	64	(47.4%)
・介護機関	65	(48.1%)
・教育機関	0	(0.0%)
・その他	6	(4.4%)

2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。（複数回答可）

・医師	1	(0.5%)
・薬剤師	46	(21.0%)
・保健師	7	(3.2%)
・看護師	27	(12.3%)
・ケアマネジャー	52	(23.7%)
・相談員	15	(6.8%)
・介護職員	39	(17.8%)
・リハビリスタッフ	6	(2.7%)
・管理栄養士・栄養士	0	(0.0%)
・鍼灸師・マッサージ師	4	(1.8%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	9	(4.1%)
・その他	13	(5.9%)

（社会福祉士 5 名，施設長 1 名，消防 7 名）

3. 研修会を受講し、ご自身の理解は深まりましたか？

・深まった	127	(94.1%)
・どちらともいえない	6	(4.4%)
・あまり深まらなかった	1	(0.7%)
・無回答	1	(0.7%)

第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会

「地域での看取りを知る」
～在宅・施設・病院それぞれの多職種によるACPの在り方～

日 時：令和3年10月16日（土）

14：00～17：00

会 場：Web開催

13：30 受 付

14：00 開 会

挨拶

公益社団法人函館市医師会 会長 本間 哲

14：10 ≪シンポジウム≫

○講演

「ACPの概要」

座 長 川口 篤也 様

「在宅でのACP」

シンポジスト 保坂 明美 様

「施設でのACP」

シンポジスト 南部 雄一 様

「病院でのACP」

シンポジスト 山崎 裕 様

(15：25 休憩)

15：35 ○ディスカッション

*座長の進行により、座長とシンポジストでディスカッションをしながら参加者の皆様から意見を伺ったり、質疑応答を行ないます。

○総評

16：50 閉 会

挨拶

公益社団法人函館市医師会 副会長 恩村 宏樹

研修概要書

名 称	第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会
目 的	ACP 実践に向けて、多職種の相互理解と ACP の理解を深める
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅・施設・病院での事例を通して、利用者（患者）の思いや ACP の必要性を知る事ができる ・研修にて、自職種を振り返り多職種と情報共有する事ができる ・利用者（患者）の意思決定を支援するチームの一員として、明日からの働きを具体化できる
共 催	函館市（函館市医療・介護連携推進協議会） 函館市医師会（函館市医療・介護連携支援センター）
日 程	令和3年10月16日（土） 14：00～17：00
開催方法	ウェブ開催（Microsoft Teams を使用して開催します） *参加者には、後日招待メールを送付致します 意見交換・質疑応答があるため、マイク機能は必須です
テ ー マ	在宅・施設・病院それぞれの多職種によるACPの在り方
内 容	<p>シンポジウム （座長） 医療法人道南勤労者医療協会函館稜北病院 副院長 総合診療科科長 川口 篤也 先生</p> <p>（シンポジスト） 訪問看護ステーションフレンズ 所長 保坂 明美 様 特別養護老人ホーム旭ヶ岡の家 生活相談員・介護支援専門員 南部 雄一 様 市立函館病院 緩和ケア科科長 山崎 裕 様</p> <p>（シンポジウム内容） ・各シンポジスト発表 ・ディスカッション *座長の進行により、座長とシンポジストでディスカッションをしながら参加者の皆様から意見を伺ったり、質疑応答をする予定です ・総評</p>
参加対象	市内の医療・介護関係者
参加人数	200名
参加費用	無料 ※通信料は自己負担となります
備 考	アンケート実施

ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和3年4月～令和3年9月）

月	研修名称（団体名）	件数
4月		0件
5月	第168回 国立函館病院合同教育講座 『日本人COPD患者の特徴とグローバルデータの読み方』 (国立病院機構函館病院)	2件
	第64回 北海道医療ソーシャルワーク学会北海道医療ソーシャルワーカー協会 『パンデミック時代のソーシャルワーク』 (北海道医療ソーシャルワーカー協会)	
6月	令和3年度 第1回研修会 函館鍼灸マッサージ師連絡協議会 『鍼灸院・マッサージ院が医療機関に関わる上で大切なこと』 (函館鍼灸マッサージ師連絡協議会事務局)	1件
7月	市民公開講座 『お灸で健康づくり』～家庭でできるやさしいお灸～ (函館視力障害センター)	1件
8月	第5回 国立函館病院循環器疾患地域連携推進フォーラム 『フォーラム立ち上げとこれまでの経緯～効果的に地域と協働するために』 『心不全の薬物治療の動向と利尿剤の使い方』 (国立病院機構函館病院)	1件
9月	『がんの痛みのマネジメント～NSAIDsからオピオイドまで～』 (南渡島地域包括緩和ケアネットワーク)	2件
	令和3年度 南渡島地域看護職員研修 『看護をつなぐ～看護列車を切らさない～』 (北海道渡島総合振興局保健環境部保健行政室)	
合 計		7件

（その他）

函館市医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会	4件
ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会	1件

【各関係団体窓口一覧に関する規定】

函館市医療・介護連携支援センターでは、更なる医療・介護連携体制の強化を目指し、専門職の職能団体同士が直に連携・共同できる環境づくりの一環として医療・介護に関係する団体等の窓口一覧を作成いたしました。

この各関係団体窓口一覧は、各関係団体へ配布させていただき、他、当センターホームページへの掲載もしております。

《活用目的》

- 各団体間での相互理解を目的にした意見交換会や研修会等の企画・運営の際の連絡調整のため。

※当センターとしては上記の目的での活用をお願いしておりますが、上記以外での活用については、各団体同士にてご確認いただきますようお願いいたします。

《掲載の条件》

以下の条件をすべて満たすこと

- 函館市内の医療・介護関係者が所属している団体等であること。
- 公益性があり、営利目的ではない団体等であること。
- 函館市医療・介護連携推進協議会に参加している団体からの推薦がある団体等であること。

《活用方法》

- 各団体長へお知らせしたパスワードにて、当センターホームページから「各関係団体窓口一覧」を活用し、各団体間で連絡調整をする。
*パスワードは各団体長のための配布とし、各団体にて適正にパスワードの管理をすることとする。

↑新しく追加